



富久ソラからのうちゅうだより (分園)

～5月号～

～ONE ROOF～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を創り出す力を育てていこうという思いを込めています。

社会福祉法人東京児童協会
富久ソラのこども園ちいさなうちゅう
(本園) 〒162-0067 東京都新宿区富久町 14-1
TEL 03-6380-0414
(分園) 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-3-13
TEL 03-6380-6437
令和2年5月7日発行
園長 松山 有希子



はじめに、新型コロナウイルスに感染され、尊い命をなくされた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。
そして、一日も早く感染拡大が収束へと向かい社会が元に戻り、穏やかな日々を送ることが出来ますよう強く願うばかりです。

保護者の皆様におかれましては、このような新年度の始まりに大きな不安を抱えていることと思います。
今までの当たり前がいかほど大切であったかを思い知らされている今日この頃ですが、このような状況だからこそ、園・ご家庭・地域の皆様と強い絆でつながり、活気溢れるこども園でありたいと思います。

園行事の見通しもつかない状況ですが、子どもたちが園で健康に過ごせるよう、まずは感染の収束を願い、できる限りの予防に努め、引き続き以下の衛生管理を徹底し安全・安心を第一に運営してまいります。

《園での衛生管理》

- 毎日の健康観察を行うこと (毎朝の検温確認)
- 手洗いや咳エチケットの健康教育を行うこと
- 清掃等の環境衛生を良好に保つこと (入口やノブ、手が触れるガラス面等)
- 換気、空間除菌を行うこと (水成二酸化塩素 ブロッキンウォーターを使用)
- 職員はマスクを着用すること
- 給食の実施にあたり、配膳やランチルームの際の席の工夫を行うこと
- 教育活動の内容や方法を工夫すること
- 行事の日程や内容を工夫すること 等

<法人各園の取り組み>

新年度を迎え、自治体の方針に伴い通常の園運営が困難になり、1ヶ月が過ぎました。この期間に当法人の菊地政幸理事長の「保育園、こども園は社会生活の基盤を支える役割である。今、家庭で過ごしている子どもに対しても保育を提供したい」という想いのもと、親子で作れる「こいのぼりセット」「とんとん相撲セット」を各ご家庭へ郵送させていただきました。保護者の皆様から手紙やKindyへのコメント、制作の様子 Instagramへの投稿等、たくさんの感謝のお言葉をいただき、ありがとうございました。第3弾も予定しております。楽しみにしてください。

また、社会福祉法人東京児童協会として、お子様が在園されているご家庭に対してだけでなく「社会貢献」の意義を改めて考える機会にもなりました。各園の職員は、感染リスク軽減のため交代で勤務をしております。在宅勤務期間中には、おもちゃを手作りしたり、歌遊びを作ったり、それらを配信するなど様々な方法で子どもたちへ想いを届ける取り組みを社会全体という広い視野を持って行っています。

周りの人の命を守る取り組みを今しばらく続け、日常に戻ることができる日を楽しみに皆で乗り越えていきましょう。

～お願い～

緊急事態宣言の5月末までの継続に伴い、登園自粛期間も延長されました。今後も園は、行政の指示のもと保護者の皆様へご案内等を行ってまいります。そのため、「園からのお知らせ」をKindyの保護者連絡、クラス投稿でお伝えしております。必ず毎日ご確認をお願いいたします。

また、自粛期間中のお子様の健康状態把握のため、Kindyの連絡帳へ毎日10時までに体温の記入をお願いいたします。自粛期間も長くなり、お子様の様子も伺いたく、今後も各ご家庭へ順次電話連絡をさせていただきます。ご理解、ご協力のほどお願いいたします。



おひる

今年度は、4名の可愛いお友だちをむかえてスタートしました。一番小さなお友だちは、まだ首がすわっていないのですが、毎日機嫌よく過ごし、慣らし保育1週間が過ぎた頃には午前中のミルクをしっかり飲んでいました。5~6か月頃に成長したお友だちは、お母様と離れると泣き出してしまい、しばらくの間は保育士に抱かれて園内を散策したり、保育士の歌を聞いたり、大きな友だちの声を聞いたりしながら過ごしているうちに、安心して入眠していました。これからの一年間ご家庭と協力し、子どもたちの健やかな成長を見守りながら、一緒に楽しい園生活を過ごしたいと思います。

<今月のねらい>

- ・一人ひとりの生活リズムで保育士等や保育室に慣れ、安定した生活を送る。
- ・新しい環境や園での生活に少しずつ慣れ、機嫌良く過ごす。



うさぎ

進級児10名、新入園児7名でスタートし、今月新たに2名の友だちを迎えて19名になります。進級児は、新しい担任にも慣れ、新入園児は新しい環境に少しずつ慣れてきたところです。室内では、ままごと遊びやブロック遊びなど見立て遊びを楽しんでいます。また、天気の良い日は、園庭でアリや草花を見つけたり砂遊び等をしたりして、春を感じながら遊んでいます。疲れも出やすい時期でもあるため、怪我や体調管理に留意していきたいと思います。これからも、子どもの気付きや発信を見逃さず、共感・共有し、信頼関係を築きながら、ゆったりとした生活リズムで過ごしていきます。

<今月のねらい>

- ・一人ひとりの健康に留意し、安心して生活できるようにする。
- ・保育士等に見守られながら、好きな遊びを見つける。



ひよこ

新年度になり、新しい友だちも増え20名でのひよこ組がスタートしました。戸外では春の風や日差しが心地よく、屋上や園庭で元気に遊ぶ姿がありました。生き物にも興味を持ち、蟻やダンゴ虫、蝸牛などの観察も楽しんでいます。2歳児クラスとなり心も身体も大きく成長する1年になります。子どもたちの「どうして?」「なんで?」という興味関心を大切に、発見する楽しさを感じながら日々の活動を行っていききたいと思います。また、食事や着脱、排泄などの生活面では、一人一人の発達に合わせながら「やってみたい」という意欲を大切に、できることを増やしていきたいと思っています。

園での環境や生活リズムに慣れるよう丁寧にわかり、安心して園生活を楽しめるようにしていきたいと思っています。

<今月のねらい>

- ・自分の気持ちを受け止めてもらいながら保育士等と信頼関係を築けるようにする。
- ・戸外に出て自然に触れ、興味を持つ。



はな

はな組になり、できることが増えたことを喜びながら身の回りのことを張りきって行っています。また、はさみで切る、のりで貼る、折り紙を折るといった制作活動を通して、正しい使い方や遊び方を知り「こうするんだよね?」「もっとしたい。」と興味を示していました。このようなさまざまな遊びや活動をこれからも積み重ね、集団の約束事や相手への思いやりの気持ちなどを習得していけるように努めてまいります。また、子どもが自然とわくわくしながら英語や数、ひらがなに親しみ、新たな発見や驚き、喜びや楽しさを感じられるよう工夫していきたいと思っています。どうぞ保護者の皆様も一緒に暖かい目でお子様の成長を見守ってください。

<今月のねらい>

- ・身の回りの始末をし、生活のリズムを整える。
- ・保育士等や他児と一緒に春の自然に触れながら遊び、満足する。

保健だより

新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛を余技なくされています。やむを得ない外出後などありますが、私たち一人一人が感染をできる限り抑えるための行動をとることが重要となっています。

5月の目標

- 正しい清潔習慣を身に付ける。
- 健康診断を通して、身体や健康に関心をもつ。

〈新型コロナウイルス どうやって感染するの?〉

飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられています。

（1）飛沫感染：

感染者の飛沫（くしゃみ、咳（せき）、つば など）と一緒にウイルスが放出され、そのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※感染を注意すべき場面：屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき。



（2）接触感染：

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者に直接触れなくても感染します。

※感染場所の例：電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

〈感染予防に大切なこと〉

一般的な感染症対策や健康管理を心がけてください。

（1） 手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒を行う。

帰宅時やトイレの前後、調理の前後、食事前、掃除の後にこまめに手洗いをしましょう。

手洗いする前にスマホを拭いておきましょう。（70%以上のエタノールを含む消毒液）

スマホは食事中には触らない。（子どもの操作も控えてください。）



（2） 早寝・早起き・朝ご飯を心掛ける。

十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。



（3） 適度な湿度を保つ。

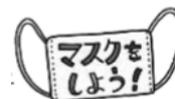
空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保ちましょう。



（4） 定期的な換気をする。

（5） 人ごみを避ける。

（6） 他の人にうつさないために、咳エチケットをする。



〈保健のお知らせ〉

- ① 毎年5月に行われます全園児健康診断ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とさせていただきます。日程が決まりしだいお知らせいたします。
- ② 0歳児健診は月2回実施をしていますが、5月28日（木曜日）のみとさせていただきます。
- ③ 毎月行われます全園児身体測定は、集団での実施は避け複数日程を設けて行います。

栄養士から

《端午の節句について》



「端午」とは、月の初めの午(うま)の日、5日のことをいいます。

昔、中国で5月5日に行われていた病気や厄災を祓う重五(ちょうご)という節句と、田植えの時期に農家で厄除けとして蓬(よもぎ)や菖蒲(しょうぶ)を飾る日本の行事とが結びつき、端午の節句がはじまったといわれています。端午の節句には、鯉のぼりをあげて柏餅を食べ、菖蒲湯に入るなどして男の子の成長を祝います。

\\それぞれの由来と習慣//

鎧や兜 	自分の命を守る象徴として考えられ、男の子の事故や病気、災害などから守られるように…という願いがあります。
粽 	中国から伝わってきた食べ物です。 5月5日に粽を作って災いを除ける風習があり、端午の節句と共に日本に伝わりました。
柏餅 	江戸時代に生まれた日本のお菓子です。 柏の葉は次の新芽が出るまで落ちない事から、子孫繁栄の象徴です。
鯉のぼり 	中国の古事「登竜門」にちなみ、立身出世の象徴として男の子の成長や出世を願い、飾られます。
菖蒲湯 	中国で、季節の変わり目に体調を崩しやすいとして菖蒲湯に入る風習があり、日本へ伝わったものとされています。また、日本には古来から「五月忌み」といって菖蒲の葉や蓬を軒に挿し、邪気を祓う風習があり菖蒲には厄災の力があると考えられてきました。

《早寝・早起き・朝ご飯》



園生活が始まると、起床時間や家を出る時間など決まった時間に合わせた生活になります。朝起きる時間が遅くなれば、朝食や排泄などの時間にゆとりがなくなってしまいます。朝の時間に余裕をもって過ごすためには、前日の夜に早く寝ることが大切です。

【朝食はなぜ大事なの?】

脳は眠っている間にも、成長するためにエネルギーを使っています。眠っている間に働いた脳は、朝食を摂らないとエネルギーが補給されるまでは、正常に働きません。8歳までに好奇心や集中力、記憶力、表現力など、多くのものが養われます。脳を働かせるためには、朝食がとても大切です。

【朝食には何を食べたらいいの?】

忙しい朝は、定番メニューを決めておくと朝の時間に余裕ができます。保存しやすい食品を定番献立にすると朝の準備が楽になります。

朝の目覚めをよくする
『タンパク質』

➡



脳や体を動かすためのエネルギー
『炭水化物』

➡



ビタミン、ミネラル、
食物繊維をプラス『野菜・果物』

➡



5月の予定

【行事献立】

- 誕生会献立
- 端午の節句献立

【食育・畑】

- テーマ野菜の話
- 世界の料理についての話

